

「あいち I T S 大学セミナー」について

1 大学セミナーの開催趣旨

I T S の普及啓発や、将来の当地域の I T S を支える人材の育成や産学連携につなげることを目的として、大学生・大学院生・高等専門学校生に対して I T S に関する講義を行います。

2 大学セミナーの開催方法について

(1) 受講対象者

県内の大学・高等専門学校に所属する学生

※学年、専攻内容は問いません。

(2) 派遣する講師

民間企業等で I T S の研究開発などに携わっている協議会会員

(3) 講義の形態

90分（1コマ相当）の講義を原則としています。

※既存のカリキュラムや特別講義の一部としてご活用いただけます。

(4) 開催期間

2025年5月から2026年2月まで

(5) 開催場所

応募のあった大学・高等専門学校の講義室

(6) 講義内容

I T S についての初心者向けの解説（I T S の現状や今後の展望、愛知県における I T S 推進の取組など）に加え、大学・高等専門学校の希望に応じた専門的な内容（安全運転支援技術、プローブ情報など）の講義を行うことも可能です。

3 応募にあたっての留意事項

(1) 「あいち I T S 大学セミナー応募用紙」（別添 2）に記入し、事務局へメール又は F A X でご提出をお願いします。

(2) 派遣する講師は、開催希望日時や希望講義内容を考慮して協議会で選定します。

(3) 開催日は大学・高等専門学校の希望日時と講師の都合を鑑みて調整します。なお、多数の応募があった場合は、開催できない場合や希望時期に開催できない場合があります。

(4) 講師との調整が概ね整い次第、事務局からご連絡します。詳細な内容については、講師と大学等との間で調整をお願いします。

(5) 派遣する講師と担当教員・指導学生との意見交換の場を講義とは別に設けるなど、ご要望に応じた調整を行います。

(6) 受講者の確保、配付資料の印刷、使用機材（プロジェクター、スクリーン等）の用意をお願いします。なお、講師の派遣に必要な旅費は協議会で負担します。

(7) 講義実施後、受講者及び担当教員向けアンケートへのご協力をお願いします。

4 提出先・問い合わせ先

愛知県 I T S 推進協議会事務局 東堤

(愛知県都市・交通局交通対策課内)

TEL : 0 5 2 - 9 5 4 - 6 1 2 5 FAX : 0 5 2 - 9 6 1 - 3 2 4 8

E-mail : kj-san1@pref.aichi.lg.jp

【参考】開催実績 (2024 年度)

学校名	講師	テーマ	受講者数
愛知工業大学 (2年・3年)	(株)デンソー	ITS と次世代自動車を支える半導体技術	262
名城大学	(株)アイシン	ITS 技術と公共交通 DX -持続可能な公共交通チョイソコについて-	53
愛知淑徳大学	三菱自動車工業(株)	ITS の技術動向 ~安全運転支援技術から自動運転へ~	12
中部大学	三菱自動車工業(株)	ITS の技術動向 ~安全運転支援技術から自動運転へ~	9
愛知県立大学	トヨタ自動車(株)	ITS によるモビリティ社会への貢献	86
愛知工科大学	中日本高速道路(株)	高速道路における ITS	69
名古屋工業大学	名古屋鉄道(株)	エリア版 MaaS 「CentX」 の歩みとこれから ~シームレスでストレスフリーなモビリティネットワ ークの実現に向けて~	139
愛知学院大学	(株)デンソー	ITS と次世代自動車を支える半導体技術	163
名古屋産業大学	名古屋鉄道(株)	エリア版 MaaS 「CentX」 の歩みとこれから ~シームレスでストレスフリーなモビリティネットワ ークの実現に向けて~	145
愛知学院大学	三菱自動車工業(株)	ITS の技術動向 ~安全運転支援技術から自動運転へ~	55
名古屋文理大学	中日本高速道路(株)	高速道路における ITS	82
名古屋産業大学	(株)アイシン	ITS 技術と公共交通 DX -持続可能な公共交通チョイソコについて-	47

<教員からの意見・感想>

- ・学生の理解度は非常に高く、講義内容をしっかりと吸収している様子が見受けられた。全体として非常に良い理解を示していた。
- ・業界の現役の方にお話をしてもらえることは、大変ありがたい。ITS のことを理解して興味をもってもらう機会となった。
- ・大学生が学問と実社会との関係を学べる良い機会だと思う。

<学生からの意見・感想>

- ・ITS に関して現場の方が講師をすることで、とてもリアリティがあり、説得力のある話で聞きやすかった。
- ・次世代のモビリティに関する最新技術や取組について学ぶことができ、とても興味深かった。
- ・今後の自動車について、映像を見て是非乗ってみたいと思い、どのような技術の発達が必要なのか知識を身につけたいと感じた。